

2009年(平成21年)

9月10日

No.231

毎月2回10日/25日発行

# リサイクルの通信

## The Reuse Business Journal

発行所: ㈱リフォーム産業新聞社  
本社: 〒104-0061  
東京都中央区銀座8-11-1  
TEL:03(6252)3451 FAX:03(6252)3461  
発行人: 加賀光次郎

みんなで止めよう温暖化  
チーム・リフォーム  
リサイクル通信は再生紙を利用しています

### 今号の注目記事

- 11 古物市場の落札価格を公開!
- 10 ネットオークションデータ徹底分析
- 5 インタビュー  
クラウンジュエル  
福元 健之社長
- 2 10年前ケータイも50円で買取 携帯買取FC
- 4 中古PC業界地図 市場全体が前年10%増



### 中古ケータイ「エコたん」 モバイルサイト開設で若者集客

ジャスダック上場の日本テレホン(大阪府大阪市)が9月2日、中古携帯電話販売のモバイルサイト「イーブーム エコたん」を開設した。

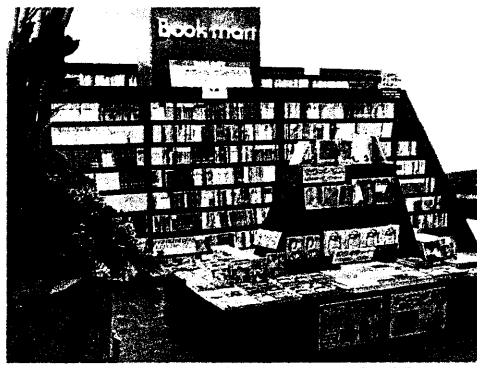
10~20代の若者層をターゲットとして中古ケータイ市場を拡大するの狙い。

モバイルサイトオープン記念として、9月末まで、auの携帯が全

シンガポール店は約70坪の売場に、日本の書籍やコミック、CDなど5万点以上を陳列。

来店者数などは明らかにしていないが、「広告をほとんど打っていないにも関わらず、想像以上の盛り上がり」(掛谷大介専務)だと語った。

シンガポールは、物品税や航空税がかかることから、日本の書籍が国内の1.7~2倍で販売されている。古書の場合は、諸経



▲ブックマートシンガポール・セントラル店の店内。高級感のあるイメージの内装に

新古書店ブックマートグループ(東京都港区)初の海外店舗、シンガポール・セントラル店の滑り出しが好調だ。同社は8月20日、シンガポール、クラーキーの商業施設の2階に店舗を開店した。同国で販売している日本の書籍は国内定価の2倍ほど。廉価な古本の需要が旺盛だ。

販売できることから人気を集めているようだ。シンガポールは治安がよく、邦人人口も2万5000人ほど。現地の邦人は所得が高く知識層が多いという土台もある。

店舗の内装は、オー

### ブックマートグループ

## 関税で本が高額。中古ニーズ大

# シンガポール市場開拓へ

うな高級感のあるイメージを目指す。店内には、ゆっくり読書を楽しめるカフェスペースや、キッズコーナーなども配している。

シンガポールには、紀伊国屋書店が3店舗あり、アマゾンなどの通販で購入する手段もあることから、日本の新刊本の流通がある。ブックマートでは現地

で買い取って現地で販売する方式をとる方針だ。

運営にあたっては、海外に出店には、ニューヨークに本社を置く投資会社「バイロン・ワールド・トレーディング」がF.C.契約を行っており、ブックマートグループから運営のノウハウ提供を受ける。すでに2号店の出店をニューヨーク

ソフトマップ人事異動  
新社長に平岡正行氏  
ソフトマップ(東京都豊島区)の代表取締役社長に、平岡正行氏が就任する。8月27日、取締役会で決議された。

平岡氏は、昭和43年生まれ。平成4年にソフトマップに入社。法人営業本部長兼経営企画本部長などを経て代表に就任された。

現代表の野口進氏は、ピクカメラの常務取締役商品本部長に就任する。

Gooのプロトコポ  
「おいくら」を取得  
ディー・エヌ・エー(東京都渋谷区)が8月31日、リサイクルショップ情報サイト「おいくら」を、プロトコポ・リレーションに譲渡すると発表した。

おいくらは、2001年に開設されたサイトで、約1900のリサイクルショップ情報を掲載。インターネットを通じて消費者が買い取り見積もりを依頼できる。その他、古銭や軍装品、日本刀、国内外の切手やメダルなど、マニアやコレクター向けの商品、直営店では来店による買取依頼が毎月1000件以上ある。

現在連日のようにF

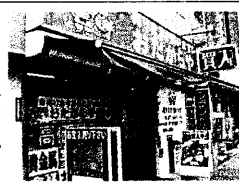
### 骨董・古銭をMIX した金ブライ買取店 おたからや、F.C.加速

#### 月間7~8店ペースで店舗増

骨董やブランド品、貴金属などを取り扱うおたからや(神奈川県横浜市)が、F.C.店の出店を加速している。

昨年の6月からF.C.オーナーの募集を専門誌等で行っており、今年に入ってから毎月7~8店舗ずつ増加しているという。

「直営店は買取専門店で東京・神奈川に11店舗、その他約50店舗のF.C.店が北海道から沖縄まで全国にオープンしています」(渡辺喜久男社長)



▲横浜にある本店



▲古銭などもコレクターに人気だ

フランチャイズ加盟時の費用はロイヤリティや研修費など全て含めて約200万円。(店舗取得費は別)査定や真贋判定のノウハウ、店舗研修なども含まれる。1からスタート

トする個人や、法人企業もある。同店におけるモデル収支の売上は約600万円。中には1000万円の売上げ達成した店舗もある。

同社で扱うアイテムは、骨董品やブランド

C説明会を行っているとのこと。この100年に1度の不景気がF.C.店舗の出店や買い取りビジネスの成功の力ギになっているようだ。同社の年商は12億円。

**HAPPYリサイクル**  
NO.777 いまいるみろみ

**中古携帯電話と乙女心**

中古携帯電話の買取販売が盛んになってきたらしい

平均2年で買い換えるもんない

うちも扱ってほしいもんないか?

古い携帯出してよ

わたしの場合携帯ひとつが思い出のたまたま箱なのよ

この携帯は、お母さまの思い出の品だから、大切に扱ってあげたいわ